



完成した紙ひこうきを飛ばす子どもたち

すごくよく飛ぶよ

「学校で受けられない授業”ミニ”」 in 総社

小学生ら約90人が参加して、飛行機について学ぶ「学校で受けられない授業”ミニ”」in 総社が3月30日、きよね夢てらすで開かれました。

最初の授業では、飛行機の構造や空を飛べる理由など、日本航空の整備士の話に、子どもたちは興味深げに聞き入っていました。

また、紙ひこうき作りの授業では、よく飛ぶコツを聞き挑戦。用意されたA4判のオリジナル用紙に向かい、同社の社員の説明を聞きながら一折一折ていねいに折りあげていました。完成した紙ひこうきを早速飛ばし、飛び具合を競い合っていました。

県立大の新入生のバイブルに

ガイドブック『総社の達人』が完成

今年4月に岡山県立大学に入学する新入生に、総社や大学生活について知ってもらおうと、岡山県立大学の学生が制作したガイドブック『総社の達人～県大生のための総社を三倍楽しむ本～』が完成しました。

これは、市と同大の共同研究事業の成果の一つです。編集したのは、デザイン学部の石田希美さん、内村克樹さん、大濱祐史さん、北迫久美子さんの4人。学生の目線で、おすすめ店やレジャースポット、下宿生活（料理のレシピやバイト、ゴミの出し方）、住民票・年金の手続き、医療機関など、学生が必要とする生活情報が掲載されています。また、「県大くん」というキャラクターも登場し、読みやすくすることにも心が配られています。

ガイドブックはA5判70ページで、500部を印刷。4月6日の同大入学式で新入生に配布されました。



ガイドブックを掲げる県大生（前列左から大濱祐史さん、内村克樹さん、後列左から北迫久美子さん、石田希美さん）

ケアレンジャーが登場

山手健康福祉フェア

3月15日、山手健康福祉フェアが山手公民館で開かれ、大型紙芝居や寸劇、大鍋による豚汁などを、訪れた人たちは楽しみました。

認知症をテーマにした寸劇「山手福祉戦隊ケアレンジャー」を、地域住民や山手福祉センターの職員らが上演。「徘徊」には行動の気持ちを知り共感する、「収集癖」には感情を見抜く、「怒りっぽくなった」には包み込む愛情で、「幻覚と妄想」には心を開く、「無気力」にはその人らしさをみるなど、認知症のケアのポイントが、劇中で披露されました。



寸劇「山手福祉戦隊ケアレンジャー エピソード2 ～あのヒーローたちが帰ってきた！今度の敵は『認知症』～」の一場面。世界征服を企てる悪の博士が開発した飲んだらだれでも認知症になるという薬が、怪人によって山手地区にまかれ、それをケアレンジャーらが阻止する物語



日本古来の技術の継承に

松皮採取査定会

松皮を取り扱う原皮師の技術向上を目的に、松皮採取査定会が3月24日・25日の両日、日羽八幡神社で行なわれました。

西日本各地から25人の原皮師が参加。樹齢80年以上のヒノキに、ロープを巧みに使って登り、松皮を採取していました。査定のポイントは、登り方をはじめ、木を傷めないことや手早さなどです。査定会は、ランク付けだけでなく、先輩の原皮師からの助言を受けたり、他の参加者の動きを参考にしたりすることができ、参加者の励みにもなるそうです。全国社寺等屋根工事技術保存会が主催。



松皮を採取する原皮師

ミニフォト

貴重な植物を大切に



講演を聞く参加者

自然保護講演会が3月22日、市図書館で開かれ、岡山大学資源生物科学研究所の榎本敬准教授が、総社の貴重な植物や特定外来植物の生息状況について講演。参加した約50人は、メモを取りながら熱心に聞き入っていました。

吉澤壽恵さん100歳



市長から祝福される吉澤さん

3月25日に吉澤壽恵さん（清音上中島）が、満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。95歳まで元気にゲートボールをしていた吉澤さん。「好き嫌いで何でも食べること」と長寿の秘訣を教えてくださいました。

コアテック阿曾工場がしゅん工



しゅん工した阿曾工場

3月29日、市が工場建設の仲介をしたコアテック阿曾工場のしゅん工式が行われ、関係者らが新工場の完成を祝いました。同工場は精密機械製造用に、ちりやほこりを排除できるクリーンルームを備えています。操業開始は当面未定。

ブラジル人学校の児童、県大へ



附属図書館を見学中

駅前のブラジル人学校では、向学心の向上にと3月25日、同校の児童ら8人が岡山県立大学を見学。同大の学生たちの案内で構内を巡ったり、保健福祉学部の教授の話の聞いたりするなかで、児童らは大学に興味を抱いていました。

清音ふれあいフェスティバル



食べ物コーナーを囲む人々たち

清音ふれあいフェスティバルが4月11日、清音ふるさとふれあい広場で開催され、家族連れら約1万人の人出でした。ステージでの芸能をはじめ、食べ物コーナーやいかだ体験などを、訪れた人たちは思い思いに楽しんでいました。

スキームの定期演奏会



練習の成果を披露

スキーム・ジュニアウインドアンサンブル定期演奏会が3月29日、市民会館で開催されました。スキームに所属の小学生たちは一年間の練習の成果を披露。全12曲を演奏し、心地よい音色を会場内に響かせていました。